

東栄町

ふっ
古

と
戸

散策マップ

《改訂版》



花祭りゆかりのコース (所要時間:5時間)

①村行の七滝⇒②稲荷様⇒③精進淵⇒④みるめ様⇒⑤蘭塔場・六地藏
⇒⑥八幡神社・普光寺⇒⑦御滝・山の神⇒⑧鬼の足跡⇒⑨遥拝場⇒⑩白山神社

願かけ・パワースポット巡りコース (所要時間:5時間)

①古戸風穴⇒②砂防堰堤⇒③でんちよろ場⇒④稲荷様⇒⑤村行の七滝
⇒⑥柿平橋⇒⑦精進淵⇒⑧八幡神社・普光寺⇒⑨御滝・山の神⇒⑩薬師堂⇒⑪十日宮

古戸の景勝地巡りコース (所要時間:3時間)

①桜と紅葉の並木⇒②柿平橋⇒③おいでん農場⇒④鴨山川⇒⑤遥拝場
⇒⑥井水堰堤⇒⑦瀬戸の淵⇒⑧茶畑⇒⑨十日宮⇒⑩冷泉

東栄町「古戸」のご案内



古戸便り(QRコードにアクセス!)

古戸地区の住民が、古戸の四季と名勝、イベント情報をお届けしています。会員登録(無料)すると携帯メールに配信されます。是非アクセスを!









<http://www.at-ml.jp/?in=56029>

お問合せ先

古戸ひじり会 会長 初澤 宣亮

〒449-0213 東栄町大字振草字古戸日蔭96-1
電話:0536-78-5070 携帯:090-4790-2714

古戸の四季のカレンダー

季節	農業 年間を通じてどんな作物をどのように作ってるの？				自然 季節毎にどんな生き物・植物がいるの？	暮らし 季節毎にどんな暮らしをしてるの？				
	水 稲	野 菜	果 樹	山林 その他		お祭り	食べ物	遊び		
春	3月	3月 じゃがいも植付～収穫(6月) 4月 里いも植付 大根の種まき(春まき)(6月収穫) 玉ねぎ収穫 自然薯の定植		3月 しいたけ収穫と菌打ち	《鳥》ウグイス(4月頃～)、ツバメ(5月頃～) 《植物》桜(普光寺、若宮神社) スイセン(3月) カタクリ(3月～4月) クマガイソウ、ヤマブキ、ハナモモ(4～5月) タンポポ、チュウリップ ヒトツバタゴ(5月) 彼岸花(年2回) 	3月 鹿射ち神事、初午祭 春の山の講(日笠、日向など)(旧暦2月6、7日) 乳母神様、たねとり	3月	3月		
	4月 耕土 育苗 あぜ草刈り 水路掃除 田植え	5月 ナスの定植 サツマイモ押し キュウリ、ゴーヤ、ピーマン、オクラ、トマト、大豆、小豆の種まき えんどう豆の収穫		4月 植林		4月 八幡神社の春祭り 天神様(浅井、日向、日蔭)(29日)	4月 山菜(ワラビ、ゼンマイ、イタドリ、フキ、ツクシ、コゴメ、コシアブラ)、ノビル	4月 雑魚釣り		
夏	5月	6月 トウモロコシの種まき カボチャの定植(8月収穫)	6月 梅 グミ	6月 森林等の下刈(6月～9月)	《動物》モリアオガエル、カジカカエル、マムシ 《鳥》コノハズク 《魚》フシナ(6月)、鮎(放流6月、漁解禁7月～) 《昆虫》トンボ(7月～9月) ヘイケボタル(6月) カブトムシ、ヒグラシ、ツクツクボウシ、カマキリ 《植物》ヒマワリ	6月	6月 梅干しづくり	6月		
	6月 草刈り	7月 ナスの収穫	7月 ピワ	7月	7月 津島神社祭典 宝篋塔様の祭典(中旬)	7月	7月 鮎釣り 竹鉄砲 (しんしん玉、スギ玉)	7月		
秋	7月 あぜ草刈り 電柵づくり	8月 トウモロコシの収穫 キュウリ、ゴーヤ、ピーマン、オクラ、トマトの収穫 そばの種まき	8月 ブルーベリー	8月	8月 八幡神社 盆跳ね込み奉納(10日) 初盆供養 跳ね込み、盆踊り(13日) 盆施願鬼法要・跳ね込み・盆踊り(14日) 納涼盆踊り大会(15日) 	8月	8月 鮎のひっかけ漁 にぎりずき漁 水遊び 水鉄砲	8月		
	8月	9月 大根、白菜の種まき(秋まき) ホウレンソウの種まき ミョウガの収穫 大豆、小豆の収穫	9月	9月	9月 若宮神社の祭典 お日待ち、210日、220日 	9月	9月 へぼとり	9月		
冬	9月 稲刈り(コンバイン) 稲架干し	10月 コンニャク玉の収穫 サツマイモの収穫 そばの収穫 里芋の収穫 玉ねぎの定植 自然薯の収穫 えんどう豆の種まき	10月 クルミ 栗 銀杏 あけび	10月	10月 八幡神社祭典(宵祭り)(7日ごろ) 八幡神社大祭(8日ごろ) 秋の山の講(旧暦10月6、7日ごろ) 山住神社の祭典	10月	10月	10月		
	10月 施肥 あぜ草刈り 11月 秋の荒起し 冬すき(トラクター)	11月 大根、白菜の収穫	11月 柿 柚子 キーウイ	11月 しいたけ収穫 間伐、枝打ち(11月～3月) 猟期(11月15日～2月15日)	11月 十日の宮祭典 	11月 山芋 蜂の子、へぼ (クロスズメバチ) 山ゴボウ 干し柿づくり そば コンニャクづくり 漬物づくり	11月	11月 タントキ (スズメを捕まえ、 焼き鳥にして 食べる)	11月	
季節を問わず	12月 ほ場の石等の 取除き	12月	12月	12月 炭焼き	12月 白山祭り(第2土曜日) 八幡神社の秋祭り 御神楽 花祭り舞習い	12月 五平餅	12月	12月		
	2月	1月 白菜の収穫	1月	1月	1月 花祭り(2日～3日)	1月	1月 風揚げ ソリ滑り スケート 氷ざこ漁	1月		
		2月	2月	2月	2月 初庚申 	2月 しし餅(1月～2月) 栃餅 山菜(フキノトウ)	2月	2月		
					《動物》たぬき、猪、ニホンカモシカ、ニホンジカ、猿、野うさぎ、キツネ、ハクビシン、アナグマ、カメ 《魚》ブド、ウグイ、アマゴ(アメノウオ)、ジノゴ(ヨシノボリ)、スナハミ、アカザ、サソリ(赤目)、カマツカ、ヘイクソ(アブラハヤ)、ウナギ、ドジョウ、ホトケジノゴ、カワニナ、サワガニ 《鳥》カラス、ハト、スズメ、カワセミ、ヤマセミ、オオタカ、トンビ、アオサギ、コジュケイ、キジ、ヤマドリ、ホオジロ、セキレイ、チョンノウ(ミソサガイ)					ゲートボール グラウンドゴルフ

東栄町 古戸散策マップ

《改訂版》



花祭りゆかりのコース(所要時間:5時間)

- 1 村行の七滝 → 2 稲荷様 → 3 精進湖 → 4 みるめ様 → 5 蘭塔場・六地藏 → 6 八幡神社・普光寺 → 7 御滝・山の神 → 8 鬼の足跡 → 9 遥拝場 → 10 白山神社

願かけ・パワースポット巡りコース(所要時間:5時間)

- 1 古戸風穴 → 2 砂防堰堤 → 3 でんちよる場 → 4 村行の七滝 → 5 柿平橋 → 6 精進湖 → 7 八幡神社・普光寺 → 8 御滝・山の神 → 9 葉師堂 → 10 十日宮

古戸の景勝地巡りコース(所要時間:3時間)

- 1 桜と紅葉の並木 → 2 柿平橋 → 3 おいでん農場 → 4 鴨山川 → 5 遥拝場 → 6 井水堰堤 → 7 瀬戸の淵 → 8 茶畑 → 9 十日宮 → 10 冷泉

願かけ・パワースポット巡りコース

- 1 古戸の風穴 → 2 豊川用水取水路 → 3 砂防堰堤 → 4 みるめ様 → 5 稲荷様 → 6 八幡神社 → 7 普光寺 → 8 御滝・山の神 → 9 葉師堂 → 10 十日宮

古戸の景勝地巡りコース

- 1 桜と紅葉の並木 → 2 みるめ様 → 3 稲荷様 → 4 八幡神社 → 5 普光寺 → 6 御滝・山の神 → 7 葉師堂 → 8 十日宮 → 9 冷泉

白山祭 ⑩

花祭はこの地が発祥地であると伝えられ、修験者が祈禱時に行った舞踏が花祭に進化したものと思われる。12月2土曜日に行われる白山祭は、神社担当の修行人も登山し、山の神、御先祖、高嶺様、聖徳皇向、住吉様への舞の奉納、がらん様、舞座での神寄せ、式三番、お珠の舞など、花祭りに関係の深い舞を行っている。

十日宮 ①

祭神は都賀屋重太郎大権現である。旧暦10月10日が祭典日であることから、「十日の宮」と呼ばれるようになった。
明和6年(1769年)に信州諏訪から勧誘し、当地に祀られた。安座にご利益があり、妊婦のお参りも多く、お願はたきには鹿抜きの標榜を奉納する慣わしがある。境内には男性を尊、女性を池に見立てた「さいの神」があり、子宝安座のご利益のほどがわかることである。

白山神社 ⑩

花祭にも関係を持つこの神社は、延喜年間(901年~923年)に京より一人の聖が加賀の国、白山の祭神 菊理姫命の御分霊を奉祀し、現地に祀ったことから始まる。この霊は山伏であり、明治初期神社となるまでは、御山三社大権現、白山妙理大権現と言い、産土様として祀っていた。
牛馬・養蚕の神として豊饒らしい神様で、信仰者は遠く三重、岐阜、長野、静岡、愛知の5県にわたっていた。
なお、聖の言行の跡として、新倉宮、日の行徳、逆さ竹、若小屋等の遺跡が残っている。この聖は、奥宮に御帳として祀られているが、創設年月日は不詳。

蘭塔場 ③

御塔場ともいい、普光寺四世足空大僧大和尚の発意によって享保3年(1718年)に三仏、六地藏、庚申、行者石像、有力者墓陣などを集めて安置した。また、山間の険しい岩間の所どころに数多くの石仏、石像を安置し、中腹には樹齢300年の老杉があり、絶景であったが、倒木して壊滅していない。

鬼の足跡 ⑧

川の中に大きな鬼の足の形が残っている。昔ここに鬼が足を踏んで、川合の奥に手をついたたので手の跡があると謂われている。なお、鬼の手跡のある場所には押塚という地名が残っている。

遥拝場 ⑨

白山神社へ登山できない人や動物用に遥拝場を奥進路に設け、ここから白山様を拝んで同じご利益を受けた。

瀬戸の淵 ⑦

吊橋がかり、巨岩に映まれた景色は絶景である。ここでは春、雨をいける普光寺の住職が、この淵の岩壁に立って、一心に祈禱を行い、鬼神に血脈を授け馳走せ、降雨をさせたという伝説が残っている。

宝篋印塔 ④

足空大僧大和尚が延享元年(1744年)にこの地に建立した源田旧層屋し、ここで写経し、主屋印塔に納めた。足空大僧大和尚は昔国から都宇の陣幕を依頼させるなど、各方面に活躍した和僧であった。現存するのは宝篋印塔のみである。

風穴 ①

古戸の風穴は、地質学的にも大変重要な石灰岩の洞窟であり、規模もこの地方としては最大級である。全長約1,000mの複合洞窟で10ホールが確認されている。また、全国的に珍しい「砂質石筍」や「滝」、「洞窟」なども発見されている。現状では、入穴できないのが残念であり、開発が待たれる。

でんちよる場 ③

法名「本道達心門位」から、人の墓所と思われるが、名前の由来は不明である。でき物に効能があると謂われ、参詣する人も多い。

稲荷様 ④

狐齋稲荷と呼ばれる、祭神は倉稻魂神であり、本来は穀物を司る神であるが、商売繁盛の神でもある。また、失せ物が見つかることも広く知られている。

村行の七滝 ⑤

昔、村人がこの滝に打たれて浄身して祈願祈禱をしたことから村行と呼ばれている。幾度にも分かれた滝は景勝の地である。

若宮様・津島神社 ⑥

若宮様の勧請年代は不詳であるが、古戸八幡様の若宮と推察される。明治30年代に当地に大雨が降り、出水により若宮様の全てが流出し、布川の島に流れつき、それを現在の地に安置したという。
津島様は同年代に尾津津島神社をお迎えして祀ったものである。牛頭天王による疫病神の恵みの信仰をした。

普光寺 ⑥

普光寺は1540年代に建立され、1620年ごろ、遠州若水温泉寺の末寺となって曹洞宗となった。
貞享年間(1684~1687年)、普光寺開山山僧徳大和尚が開祖となって開山した。
四世足空大僧大和尚は非常に傑出した人物で、古戸の農林開発の先駆者でもあった。元文5年(1740年)に本堂、庫裡等が建立され、それが現在のお寺となっている。

みるめ様 ④

花祭当日、最初に五奉りしる神である。遠い時代、諏訪・伊勢から伝説した宗義者(修験者)が、みるめ様、神加え・神止する神として神馬屋敷に祀ったことから花祭によって豊饒な神として扱われている。文化14年(1817年)の札札が存在する。

八幡神社 ⑥

享保2年(1529年)建立とあるが徳川氏等は発見されていない。古くはこの神社を古戸一宮清水三社大権現といわれ、田家や花祭はこの宮を中心に行われ、京都清水観音を迎えて祀った。

祭神は置田別命であり、応神天皇のことである。脇社には天照大神(大比呂命(住吉神社))、牛頭天王(津島様)、横社には東から稲荷大明神、諏訪大明神、西に熊野神社、山住神社、さらに乳母明神が祀られている。

乳母明神は子育て、すなわち母子信仰に基づく神で、近年は病患にご利益があるととて参詣する人も増えている。
八幡神社の祭典は、10月の大祭のほか、春、秋に行われ、その他、旧暦2月初午に、しかうち行事、初午祭、縁取り、乳母神祭、12月には初午祭の御願はたきである御神楽もこの神社で行われる。

散策にあたってのルール・マナー

- ・自然を大切に、山菜や高山植物などは取らない!
- ・物を傷つけない、落書きなどをしないようにしましょう!
- ・出会った人にはあいさつをしましょう!
- ・くわえタバコはやめ、火の用心に注意しましょう!
- ・ポイ捨てはやめ、ごみ等は持ち帰りましょう!
- ・散策の際には車に注意しましょう!
- ・笑顔を保ちながら散策しましょう!
- ・熊、猿、マムシなどに注意しましょう!
- ・車は古戸会館に駐車しましょう!

